

生活交通に関する取組み状況について

生活交通に関する取組み状況について

(新規取組地区)

不便地対策（新制度）の取組み状況 について

公共交通不便地等における支援強化

- 高齢化の進展、生活圏の移動ニーズの高まりなど、郊外部をはじめ公共交通が不便な地域における生活交通の確保が重要となっており、社会実験での成果などを踏まえ、**令和7年6月に支援制度(不便地対策)を拡充**するなど、**取組みを強化**。

不便地対策

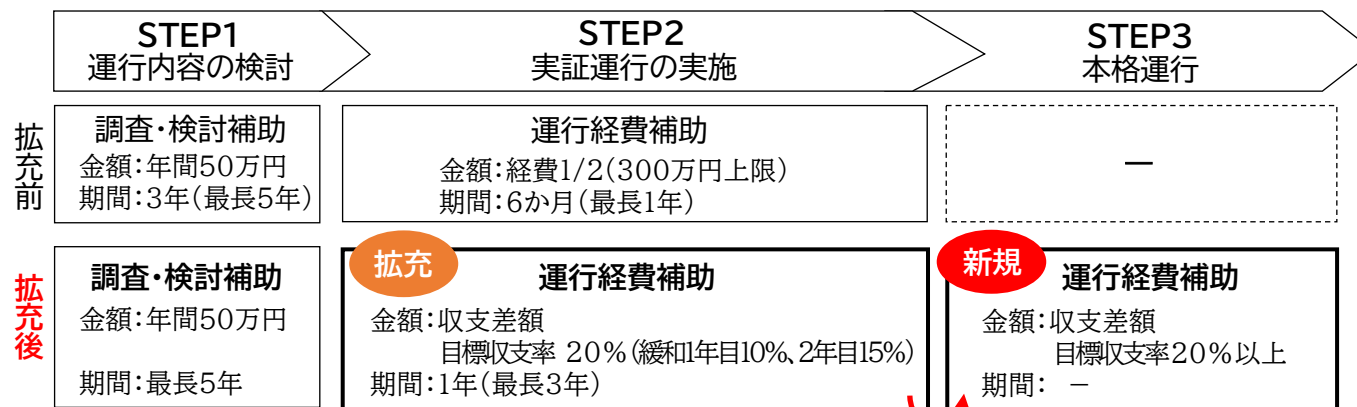
①支援の対象地域

- **公共交通不便地等**(公共交通不便地、公共交通不便地に準ずる地域等) **を含む地域**

②支援の内容

- **公共交通不便地等を含む地域**において、地域の取組みに対する検討経費や、交通事業者が実施する**実証運行への補助を拡充**するとともに、**本格運行への補助を新たに導入**
 - ・ 社会実験の実績等を踏まえ、**目標収支率を2割**(運行経費の8割を補助)に設定する
※実証運行1~2年目は、目標収支率の緩和措置を適用可能(1年目10%、2年目15%)
 - ・ 本格運行移行後も、収支率の向上が図られるよう、**インセンティブ制度を導入**
 - ・ オンデマンド交通に限らず、地域の実情に応じた持続可能な生活交通を確保

〈支援の概要〉【公共交通不便地対策補助金交付要綱】

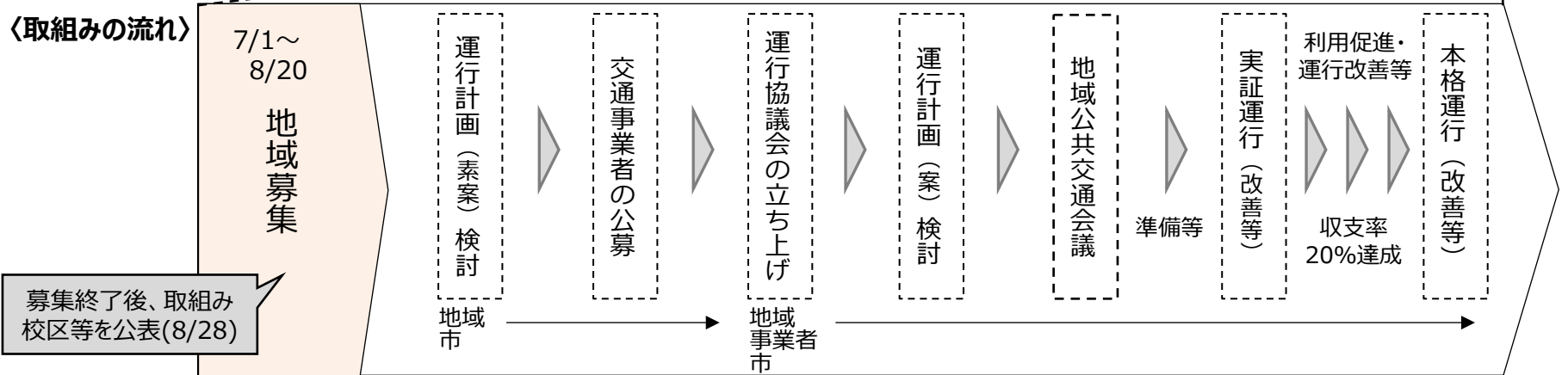
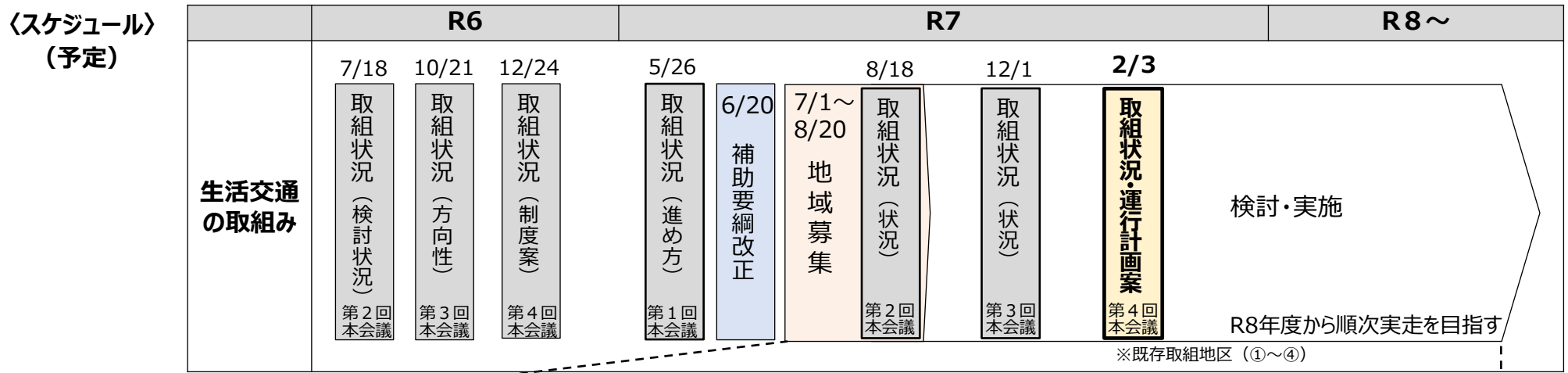


目標収支率2割を達成 ⇒ 本格運行へ移行

※目標収支率:社会実験の実績等を踏まえ、目標収支率(収支率=収入÷運行経費(初期経費等除く))を設定。目標収支率に至らなかった場合には運行見直しを行うなど、収支率の改善状況を踏まえたうえで、運行の継続有無を判断。

不便地対策の取組み状況

- 新たな支援制度にて、公共交通不便地等を含む地域において、市や交通事業者と共働で取り組む地域を募集済(7/1~8/20)。
- 応募された地域と取り組むエリアや交通手段、運行計画などを検討、**交通事業者の公募**を経て、三者で**運行協議会を立ち上げ**、運行計画案や利用促進策を検討するなど、**令和8年度からの順次、運行開始を目指し**取組みを進めていく。



※ 取組状況などについて、適宜、本会議(福岡市地域公共交通会議)に報告・協議を行う

※ 交通事業者の公募時に意見・評価する「提案評価委員会」、生活交通の取組みへ助言を行う「アドバイザー会議」を設置し、取組みを進める

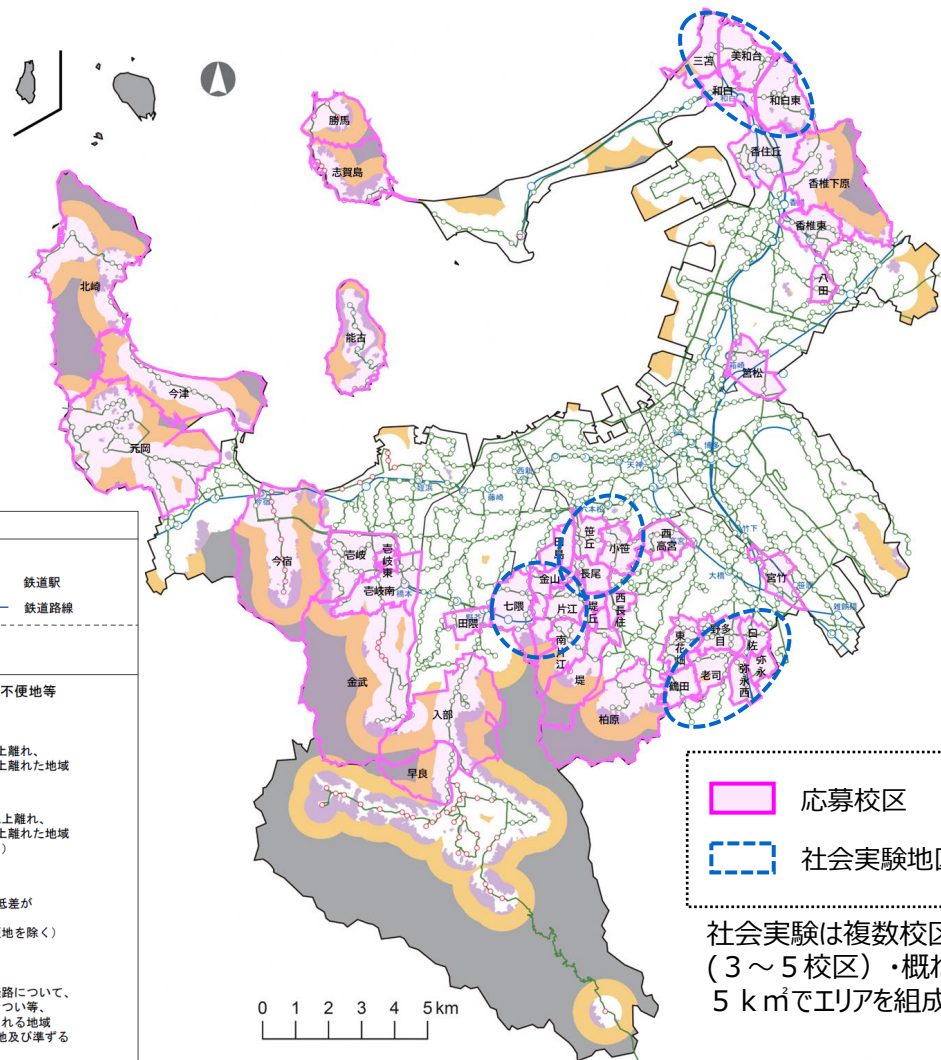
取り組む地域の募集結果

- 7月から、市や交通事業者と共働して取り組む地域を募集(7/1~8/20)。
- 申込みのあった50校区と個別相談会を実施、このうち、**44校区から取組みの応募の申し込み**。

【応募対象】 応募条件を満たす自治協議会等
 【応募条件】 ① 公共交通不便地等を含む地域であること
 ② 生活交通の必要性を認識し、その確保に向けて話し合いや広報など、地域も主体性を持って、交通事業者及び市と共働した取組みができること
 ③ 個別相談会に参加していること

区	校区
東区	美和台
	和白東
	三苦
	和白
	香住丘
	香椎東
	香椎下原
	八田
	勝馬
	志賀島
中央区	小笹
	笹丘
	日佐
南区	弥永
	弥永西
	老司
	鶴田
	野多目
	東花畑
	柏原
	西長住
	宮竹
	西高宮

区	校区
城南区	長尾
	田島
	七隈
	金山
	片江
	南片江
早良区	堤
	堤丘
	田隈
西区	入部
	早良
	壱岐
	壱岐南
	壱岐東
	金武
	今宿
	北崎
元岡	
今津	
能古	



応募校区
 社会実験地区

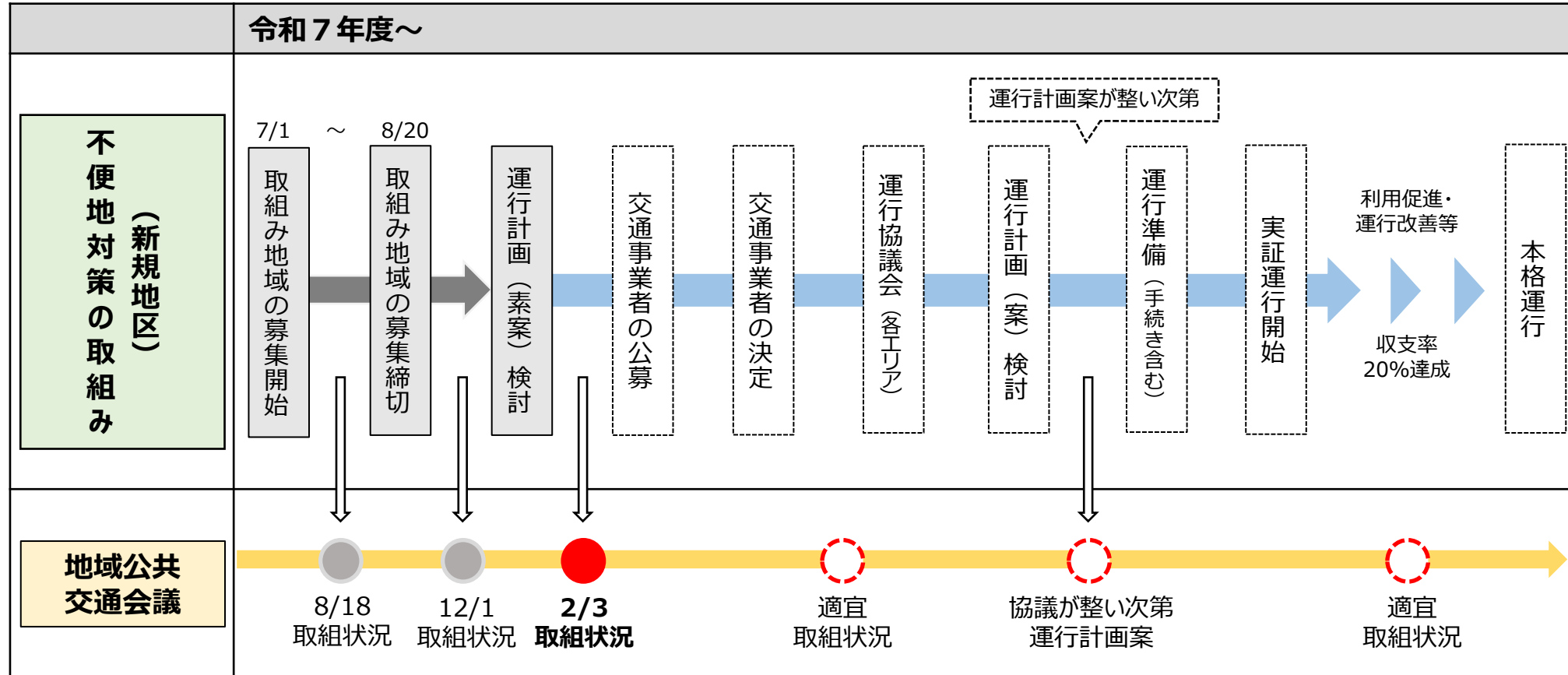
社会実験は複数校区(3~5校区)・概ね5km²でエリアを組成

新規取組地区

新規取組地区の取組み

<令和7年度第3回福岡市地域公共交通会議（抜粋：一部更新）>

- 応募された地域と話し合いのうえ、**運行計画（素案）を検討、事業者の公募**を経て、**令和8年度から、順次運行開始**を目指す。



新規取組地区の取組み一覧

○ 地域と協議のうえ、日常生活圏を踏まえ、以下のとおりの**運行計画（素案）**とした。

<運行エリア>

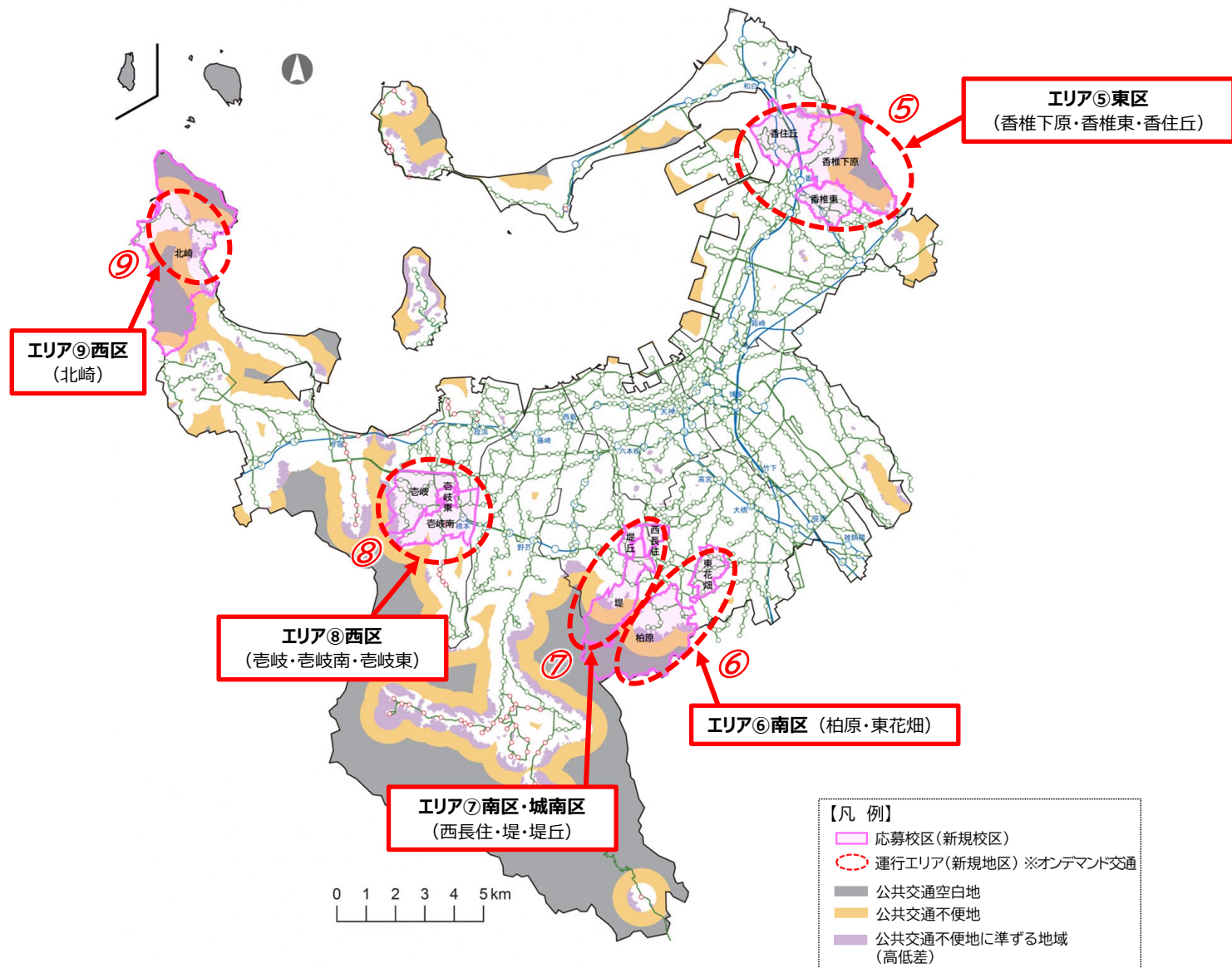
	エリア⑤東区 香椎下原・香椎東・香住丘	エリア⑥南区 柏原・東花畑	エリア⑦南区・城南区 西長住・堤・堤丘	エリア⑧西区 壱岐・壱岐南・壱岐東	エリア⑨西区 北崎
人口 (R7.9)	46,988人	17,886人	20,960人	28,699人	1,974人
高齢化率 (R7.9)	23.5%	31.7%	33.7%	34.3%	43.9%
計画 運行面積	約 7 km ²	約 5 km ²	約 5 km ²	約 7 km ²	約 6 km ²
地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> バス停等まで距離や高低差のある地域が点在している 香椎地区を中心とした生活圏 	<ul style="list-style-type: none"> バス停まで距離や高低差のある地域が点在している 花畑地区を中心とした生活圏 	<ul style="list-style-type: none"> バス停まで距離や高低差のある地域が点在している 油山観光道路沿線等を中心とした生活圏 	<ul style="list-style-type: none"> バス停等まで距離や高低差のある地域が点在している 橋本周辺を中心とした生活圏 	<ul style="list-style-type: none"> バス路線から遠く離れた集落が点在しており、買物や通院等に苦慮

<運行計画（素案）>

交通手段	オンデマンド交通				デマンド交通
運行日	週 5 日（平日）	週 5 日（平日）	週 5 日（平日）	週 7 日（全日）	週 5 日（平日）
運行時間	10時間 (8:00~18:00)	10時間 (8:00~18:00)	10時間 (8:00~18:00)	10時間 (8:30~18:30)	8 便 (9:00~16:00)
運行車両	小型車両以上	小型車両	小型車両以上	小型車両以上	小型車両以上
車両台数	1 台	1 台	1 台	2 台 (2台目は平日のみ運行)	1 台

※運行計画は、各エリアでの運行協議会（地域、交通事業者、市）、福岡市地域公共交通会議及び運賃幹事会での協議等を経て決定

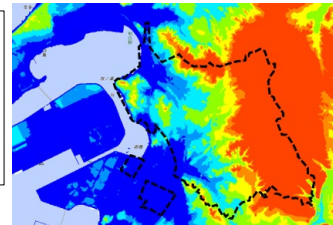
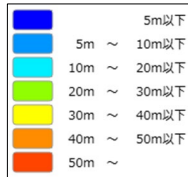
新規取組地区の取組み一覧 〈位置図〉



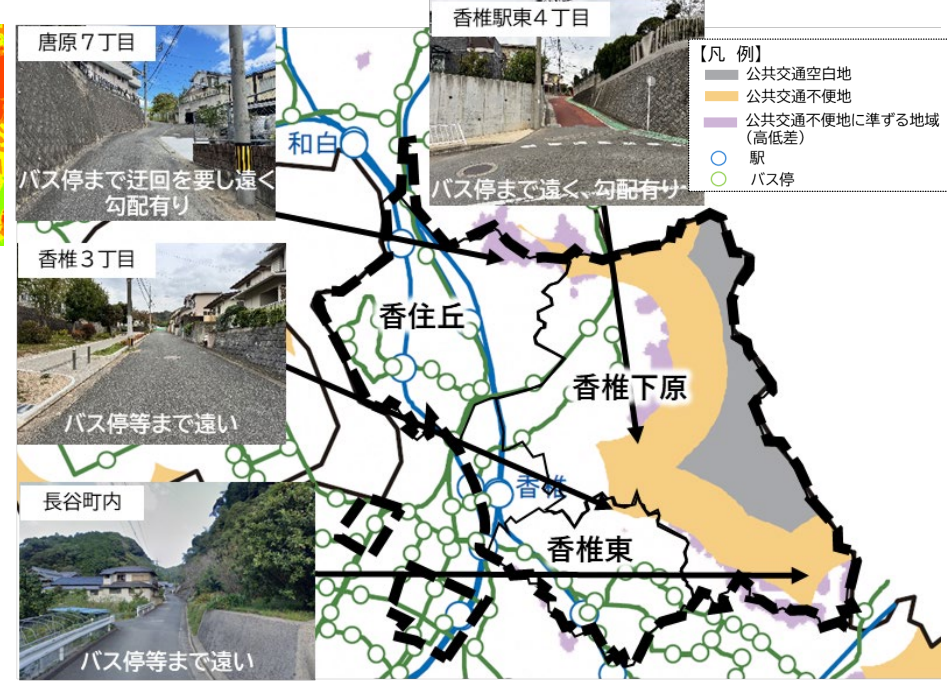
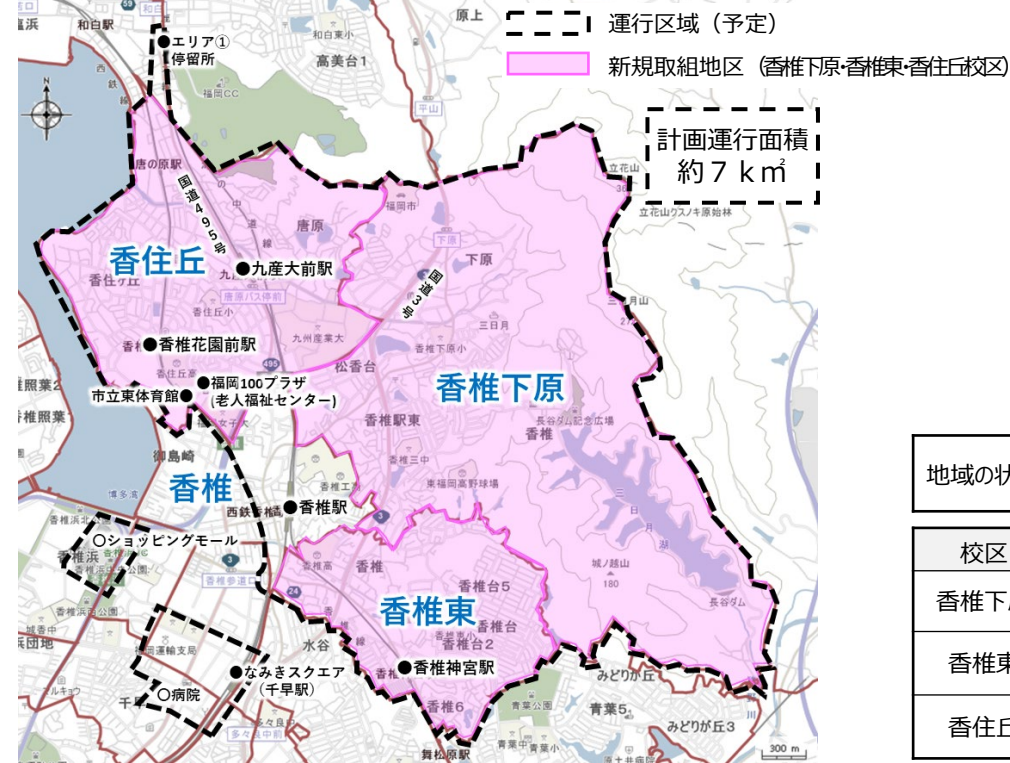
◆ エリア⑤東区（香椎下原・香椎東・香住丘校区）

○ 日常生活圏を踏まえ、香椎下原、香椎東、香住丘校区に、利便施設がある香椎地区を追加した運行エリアで検討。

	校区	人口(人)	高齢化率
エリア	香住丘	18,609	22.3%
	香椎下原	14,973	21.9%
	香椎東	13,406	27.0%
⑤	計	46,988	23.5%



※出典：福岡市HP：登録人口（校区別）【令和7年9月末現在】



地域の状況

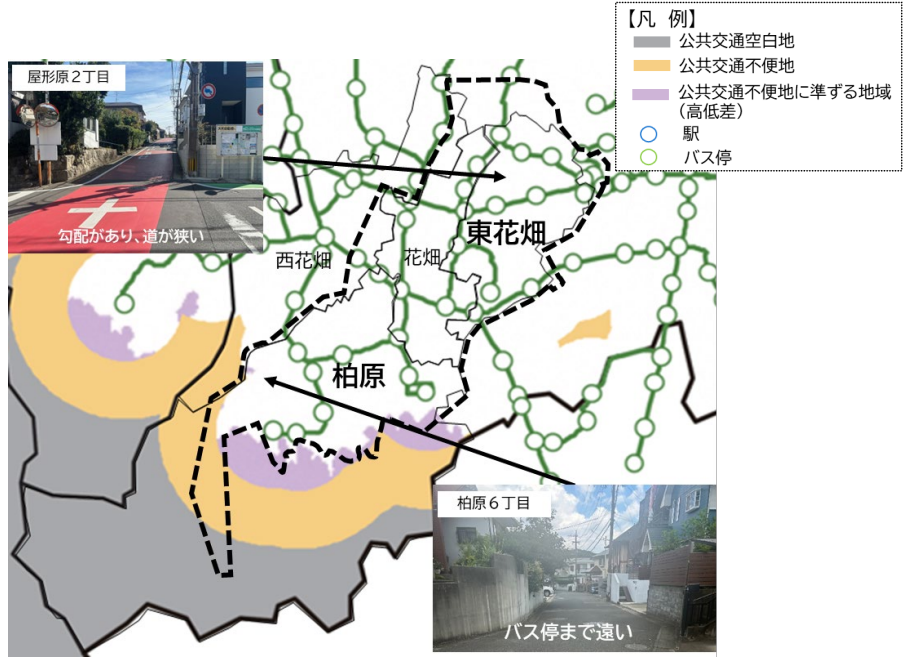
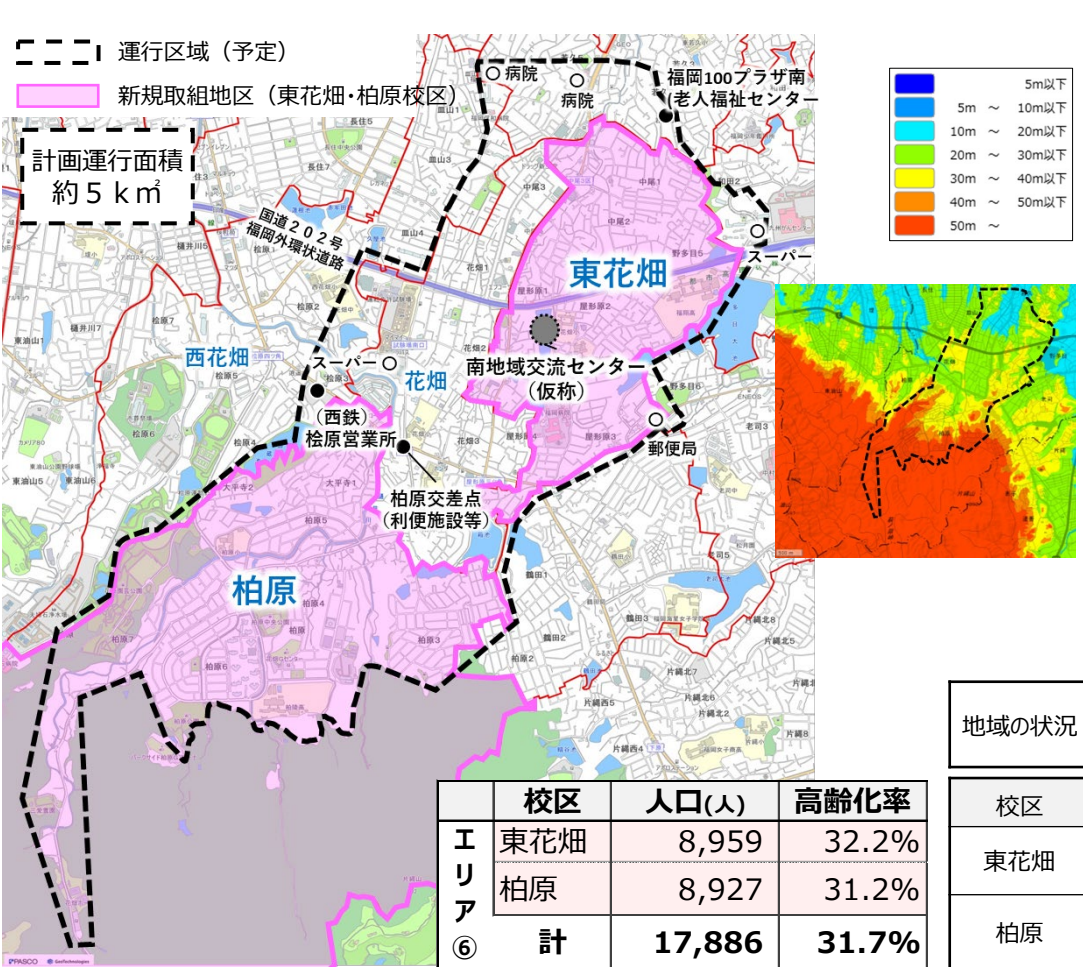
- ・バス停等まで距離や高低差のある地域が点在しており、高齢者を中心に買い物等に苦慮。
- ・香椎地区を中心とした生活圏。3校区連携してオンデマンド交通に取り組む。

校区	地域の状況（地域より）
香椎下原	・立花山、三日月山の麓が高台で勾配がきつく、バス停からも遠いため、高齢者などの買い物や通院等に苦慮している。
香椎東	・バス停まで遠い地域や高低差がある坂道もあり、高齢者などの買い物や通院等に苦慮している。
香住丘	・道路が狭く、また、高低差の大きな坂道が多く、バス停まで遠い地域もあり、高齢者などの買い物や通院等に苦慮している。

新規取組地区（オンデマンド交通）の各エリアの状況【エリア⑥】

◆ エリア⑥南区（柏原・東花畑校区）

○ 日常生活圏を踏まえ、**柏原、東花畑校区**に、**利便施設がある花畑地区**を追加した運行エリアで検討。



地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> バス停まで距離や高低差のある地域が点在しており、高齢者を中心に買い物等に苦慮。 花畑地区を中心とした生活圏。2校区連携してオンデマンド交通に取り組む。
校区	地域の状況（地域より）
東花畑	<ul style="list-style-type: none"> 校区全体が道路が狭隘で坂道がきつく、高齢者などの買い物や通院等に苦慮している。
柏原	<ul style="list-style-type: none"> 片縄山の麓は坂道がきつく、バス停まで遠い地域があり、高齢者などの買い物や通院等に苦慮している。

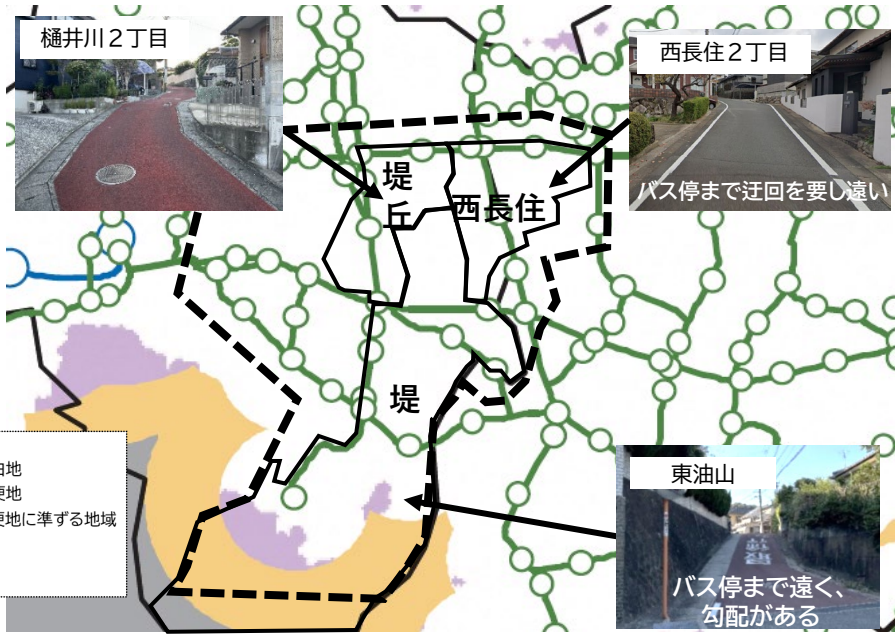
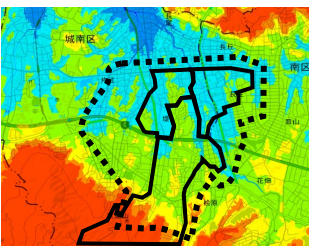
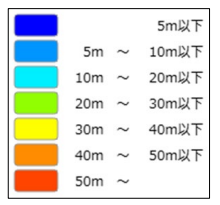
※出典：福岡市HP：登録人口（校区別）【令和7年9月末現在】

◆ エリア⑦南区・城南区（西長住・堤・堤丘校区）

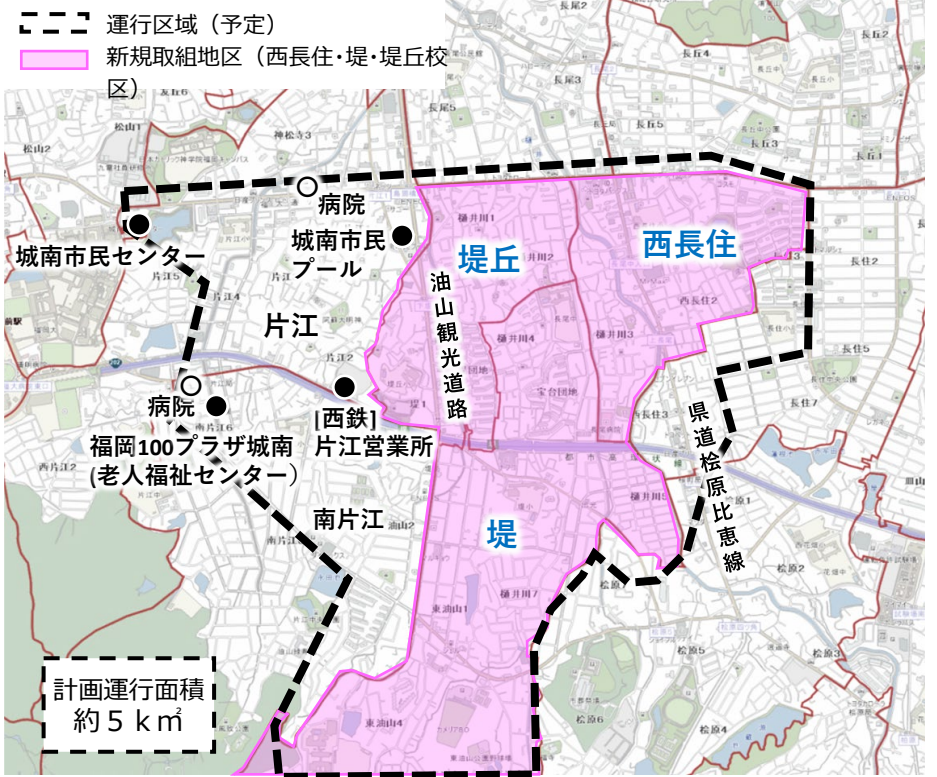
○ 日常生活圏を踏まえ、西長住、堤、堤丘校区に、利便施設のある片江地区を追加した運行エリアで検討。

	校区	人口(人)	高齢化率
エリア⑦	西長住	5,592	33.6%
	堤	9,965	32.4%
	堤丘	5,403	36.1%
⑦	計	20,960	33.7%

※出典：福岡市HP：登録人口（校区別）【令和7年9月末現在】



- 【凡例】
- 公共交通空白地
 - 公共交通不便地
 - 公共交通不便地に準ずる地域（高低差）
 - 駅
 - バス停



地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停等まで距離や高低差のある地域が点在しており、高齢者を中心に買い物等に苦慮。 ・油山観光道路沿線等を中心とした生活圏。3校区連携してオンデマンド交通に取り組む。
-------	--

校区	地域の状況（地域より）
西長住	・坂道で高低差やバス停まで遠い地域があり、高齢者などの買い物や通院等に苦慮している。
堤	・坂道がきつく、バス停まで遠い地域があり、高齢者などの買い物や通院等に苦慮している。
堤丘	・高台で坂道の高低差やバス停まで遠い地域があり、高齢者などの買い物や通院等に苦慮している。

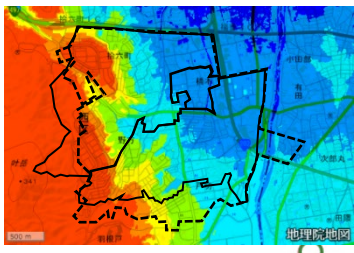
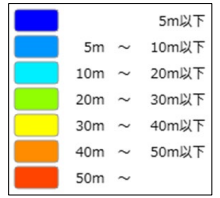
計画運行面積
約 5 km²

新規取組地区（オンデマンド交通）の各エリアの状況【エリア⑧】

◆ エリア⑧西区（壱岐・壱岐南・壱岐東）

○ 日常生活圏を踏まえ、壱岐、壱岐南、壱岐東校区に、利便施設がある**金武(飯盛)地区**を追加した運行エリアで検討。
 ※壱岐南校区でオンデマンド交通（壱岐南のるーと）が実証運行中であり、運行内容の調整を行う

	校区	人口(人)	高齢化率
エリア⑧	壱岐	15,318	31.0%
	壱岐南	10,356	36.1%
	壱岐東	3,025	45.2%
	計	28,699	34.3%



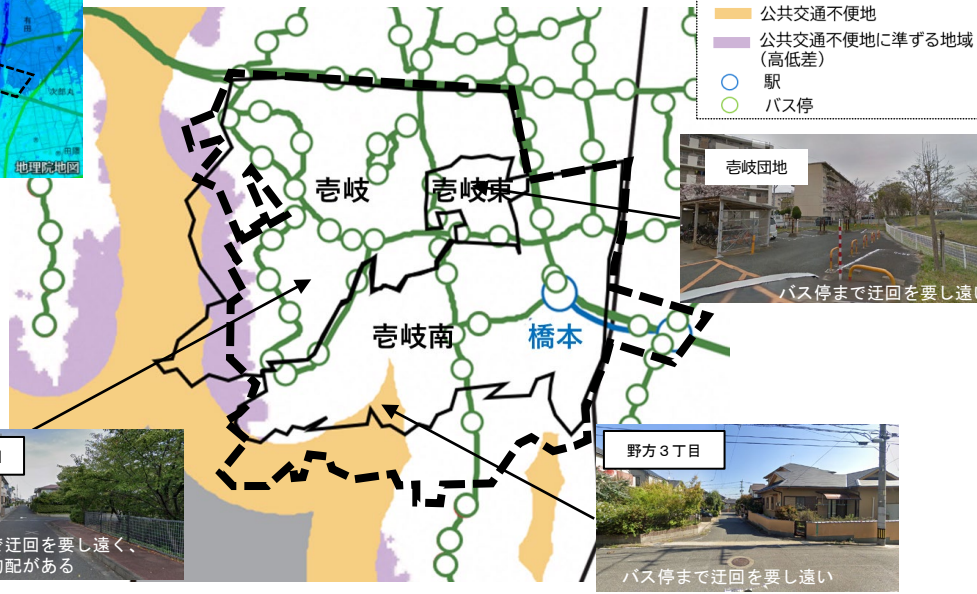
- 【凡例】
- 公共交通空白地
 - 公共交通不便地
 - 公共交通不便地に準ずる地域（高低差）
 - 駅
 - バス停

※出典：福岡市HP：登録人口（校区別） [令和7年9月末現在]

--- 運行区域（予定）

■ 新規取組地区（壱岐・壱岐南・壱岐東校区）

計画運行面積
約7km²



地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> 一部地域でバス停等まで距離や高低差あり、高齢者を中心に買い物等に苦慮。 壱岐南地区（橋本駅等）を中心とした生活圏。3校区連携してオンデマンド交通に取り組む。
校区	地域の状況（地域より）
壱岐	<ul style="list-style-type: none"> 高台に位置し、買物先や病院に行くためのバスが少なく、高齢者などの移動に困っている。
壱岐南	<ul style="list-style-type: none"> 高台で坂道が厳しく、バス停までも遠く、高齢者の買い物や通院等に困っている。 ※校区でオンデマンド交通（壱岐南のるーと）が実証運行中
壱岐東	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進展しており、バス停まで遠く、車の運転ができなくなった高齢者などの買い物や通院等に困っている。

新規取組地区（デマンド交通）の各エリアの状況【エリア⑨】

◆ エリア⑨西区（北崎校区）

○ 日常生活圏も踏まえ、北崎校区を運行エリアとして検討。

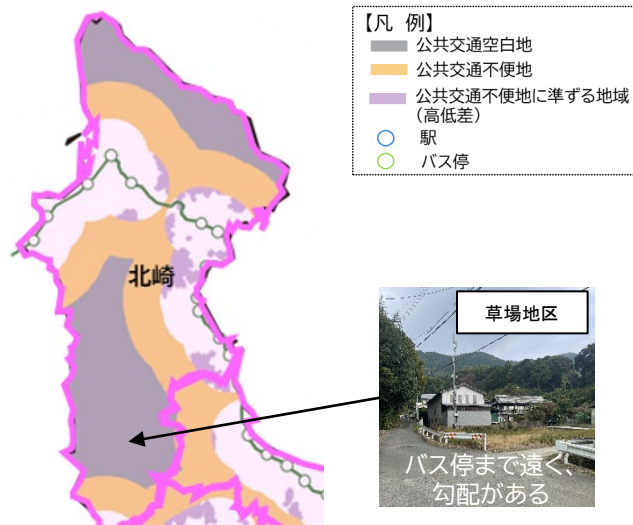
地域の状況

人口	世帯数	高齢化率
1,974 人	915	43.9%

※出典：福岡市HP：登録人口（校区別）【令和7年9月末現在】

地域の状況

- ・バス路線（バス停）から離れた小さな集落が点在しており、買い物や通院等に苦慮している。
- ・デマンド交通に取り組む。



〈運行計画素案〉

デマンド交通

運 行 日：平日
 運行時間・本数：9時～16時・8便/日
 運 行 車 両：小型車両 以上 1台
 ※予約のない停留所には停車しない

協議運賃幹事会の付議案件について